

## 会議顛末書（要旨）

								記録者	蛭原 皓貴										
供覧	会長			部長			課長			補佐			G L			G 員			
件 名		令和4年度 第2回龍ヶ崎市地域公共交通協議会																	
年 月 日		令和4年6月28日（火）																	
時 間		午後2時00分から午後3時15分																	
場 所		龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室																	
出 席 者		<p>【出席】15人            國下委員（代理：仲野氏），寺田委員（代理：山浦氏），            蛭町委員（代理：鈴木氏），直井委員，池田委員，            北村委員（代理：渡辺氏），武藤委員（代理：橋本氏），中島委員，            野澤委員，小菅委員，板谷委員，上野委員，吉野委員，            佐藤（昌）委員，落合委員</p> <p>【欠席】3人</p> <p>【事務局】            都市計画課 仲村課長，寺田副参事兼課長補佐，北島課長補佐，            平沢課長補佐，記録者            ランドブレイン株式会社 太田氏</p> <p>【傍聴】5人</p>																	
会議内容 【会議次第】		1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 議事 5. その他 6. 閉会																	
内 容  (主な意見)		<p>※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。</p> <p>【事務局】            1 開会            2 市長挨拶            3 委嘱状交付（上野氏が代表で委嘱状を受領）</p> <p>○会議資料等の確認。</p>																	

○委員の紹介

○事務局5名，交通計画策定業務委託事業者の紹介。

○会議の進行については，会長，副会長の選出までの間，事務局が行う。

○定数の過半数出席により，本会議が成立した旨を報告。（龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例第6条第2項）

○本日の議事録署名人は，市民公募の吉野委員と龍ヶ崎地区タクシー運営協議会の小菅委員を指名。

#### 4 議事

(1) 会長・副会長の選任について

**【事務局】**

委員の改選により，会長・副会長を選出する必要があることから，委員の皆さんに協議をお願いします。

会長・副会長の選出について，どなたかご意見等ございますでしょうか。

**【野澤委員】**

事務局の案をお聞きしたいと思います。

**【事務局】**

ありがとうございます。

会長につきましては，長年にわたり，当協議会の会長を務めていただいている流通経済大学の板谷委員，また副会長につきましては，前委嘱期間中は龍ヶ崎市商工会事務局長の大竹委員に務めていただいておりますので，同じく龍ヶ崎市商工会事務局長の佐藤委員にお願いしたいと考えております。審議のほどよろしくお願いします。

～異議なしの声～

**【事務局】**

異議なしとのことでございますので，会長に板谷委員，副会長に龍ヶ崎市商工会の佐藤委員を選任することで決定とさせていただきます。

それではここからの会議の進行につきましては，板谷会長にお願いいたします。

**【板谷会長】**

会議次第に従い議事の進行をしてみります。よろしくお願いたします。

それでは，議事に進みます。議事(2)『龍ヶ崎市地域公共交通計画骨子(案)について』でございます。事務局から説明をお願いします。

(2) 龍ヶ崎市地域公共交通計画骨子（案）について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷議長】

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問ご意見等があれば、挙手のうえご発言ください。

【寺田委員代理：山浦氏】

今回計画を作るにあたり、現在の地域公共交通網形成計画の事業評価を踏まえて、計画の中に何か反映させようと思っているものがあるれば教えていただければと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

基本方針については、基本的に現在の地域公共交通網形成計画を引き継ぎ、新しい要素を加えながら、次の事業を検討していくように整理させていただければと思います。

事業についても、従来実施したものをベースに、効果の状況を考慮しながら今後具体的に検討していきたいと思います。

【事務局】

補足として、全体的な考え方ですが、前回の評価の時点で、乗車人員が達成できていない部分もあり、収支状況をみても乖離のある路線もあり、地域公共交通を支えるのに許容できるのかという一つの課題として認識しています。そういうことに対して、たとえばオンデマンド交通を運行するなど、全体的な公共交通ネットワークの見直しに加えて利用促進策を総合的に検討していくことが必要ではないかというところで、今後、研究会等を通じて、新たな対応策について具体化していきたいと考えています。

【寺田委員代理：山浦氏】

新型コロナウイルス感染症の影響で、龍ヶ崎市に限らずどこも大きな痛手を受けているという声を聞いています。輸送人員については、やむを得ない部分もあると思いますので、この状況の中、いい計画が作れば良いと思っております。

【板谷会長】

私としては、特に問題はないと思っています。特に意見がなければ議事（2）については、このような内容で進めていくということでしょうか。

～異議なしの声～

**【板谷会長】**

異議なしとのことですので、議事（２）につきまして、資料のとおり承認いたします。

続きまして、議事（３）『乗合タクシー補助事業について』事務局から説明をよろしく申し上げます。

（３）乗合タクシー補助事業について

**【事務局】**

○資料に基づき説明

**【板谷会長】**

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問ご意見等があれば、挙手のうえご発言ください。

主旨としては、乗合タクシーの運行を今年度も国の支援を受けて継続したいということです。特に意見がなければ、今年度もこれまでと同様に進めていくということでよいでしょうか。

**【事務局】**

補足として、別紙２に接続する地域間幹線系統の図を添付しておりますが、このうち、江戸崎線については、もともと江戸崎と関東鉄道竜ヶ崎駅を結んだ路線でしたが、昨年１１月よりＪＲ龍ヶ崎市駅にアクセスできるようにルートが変更となっています。

**【板谷会長】**

そういう細かい点も含め、何かあればご発言いただければと思います。

１点だけ確認させてください。１頁の乗合率の目標値につきまして、令和３年度の乗合率 24.2%という値に対し、本計画における目標値を 30%としています。先程話があったように、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、乗り合って利用することを危惧する動きもみられる中で、この目標値についてどのようにお考えなのか教えていただけないでしょうか。

**【事務局】**

もともと、地域公共交通網形成計画において、乗合タクシーの目標として令和３年度末までに年間利用者数を 2,500 人まで増加させることを掲げていましたが、以前から目標値を大幅に上回っており、令和３年度では約 4,400 人の利用がありました。そのため令和２年度の計画より、目標を乗合率に変更したという経緯があります。

会長からお話がありましたように、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、乗合率にするのはどうかと思うところではありますが、利用者数が目標を超えているということで、引き続き、乗合率を目標とさせていただきます。

**【板谷議長】**

あまり上げすぎるのはどうかという一方で、利用者数が増えて費用の持ち出しが多くなるという面で、そのあたりバランスも重要と思います。文面に出す必要はないですが、そのあたりを意識して取り組んでいただきたいと思います。

他に意見がないようであれば、承認とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

**【板谷議長】**

異議なしとのことですので、議事（3）につきまして、資料のとおり承認といたします。

続きまして、議事（4）『龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の事業評価について』事務局から説明よろしくをお願いします。

（4）龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の事業評価について

**【事務局】**

○資料に基づき説明

**【板谷議長】**

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして何かあれば、ご発言ください。

**【武藤委員代理：渡辺氏】**

別紙3の表頭が「令和2年度の実施状況」となっていますが、令和2年度で間違いがないか確認させてください。

**【事務局】**

「令和3年度の実施状況」の誤りのため、訂正させていただきます。

**【武藤委員代理：渡辺氏】**

別紙4の2頁目の実施事業4-1として「竜ヶ崎駅の待合機能の充実」の項目で「りゅう舎」の整備についての記載がありますが、地域公共交通網形成計画の具体的な内容をみると、待合室機能の充実の中に、「トイレや待合室機能を充実させ」という記載となっています。関東鉄道竜ヶ崎線は厳しい環境の中で、龍ヶ崎市の支援を頂きながら、2年前にトイレをリニューアルしていますので、評価として記載いただければ幸いと思います。ご検討いただければと思います。

**【事務局】**

現在の地域公共交通網形成系計画については、令和4年12月末までが計画期間となっております。計画期間終了後、またはその次の協

議会で、最終的な事業評価を行うこととなりますので、その時点で追記させていただきたいと考えております。

#### 【板谷会長】

1つ目として、「1-1 JR常磐線の利便性向上」がありますが、国のJR関連の審議会に出席していますが、要望活動を継続してやっても、要望が叶わないという議論があります。JR常磐線との連携は、今後も重要であると思いますので、JRの方も、このような会議に参加してもらうことはいいことかもしれません。要望する相手というよりは、一緒に考えていい方向にもっていく方がいいかもしれないと感じました。

2つ目として、「2-1 昼間割引の拡大や通学割引の検討」について、実際やろうとすると大変だとは思いますが、利用状況の把握や制度拡大の検討を継続して行っていくということで評価がBになるというのは疑問に思います。今後も継続していく事業として検討しているのであれば、完了ではないのではないのでしょうか。

3頁目のバスロケーションシステムの導入の評価としてはAでよいと思いますが、今後の課題がないのが疑問に感じます。バスロケーションシステムやデジタルサイネージの整備が終わって、それが実際に利用されているかどうかなど、利用者の評価・検証の取組が必要ではないかと思います。実際に、利用しやすい場所に設置されているかどうかも含めて、継続して改善できる面がありそうな気がしますので、今後の課題として記載された方がよいのではないのでしょうか。

6-5 駐輪場の整備について、D評価の理由として「未実施」が挙げられていますが、JR龍ヶ崎市駅・関東鉄道竜ヶ崎駅ともに駐輪場は整備されています。利用されている方にとって満足しているのかどうか、十分なサービス水準になっているのかなど評価確認が必要だと思います。その結果、環境整備が必要であれば改善していく必要があります。そういった意味で、今後の課題として、「現状の把握、それを基にした検討」が記載されていると、次につながると思います。

#### 【事務局】

JRの本会議への参加については、委員の定数の問題もあり、すぐには対応できないかもしれませんが、前向きに検討させていただければと考えております。

6-2 バスロケーションシステムについては、昨年度実施しましたアンケート調査結果によると、まだまだ認知度が十分ではないと感じております。引き続き、利用促進と合わせて検討していきたいと思えます。デジタルサイネージについては、なかなか場所の移設について難しい面があるかもしれませんが、施設内でより見やすい位置に変更するなど、検討していきたいと思えます。

駐輪場の整備については、駐輪場の環境整備として、関東鉄道竜ヶ崎駅の駐輪場の上屋設置を位置付けていましたので、それらについては実施できていないということで「未実施」と評価させていただきま

した。同様に、新たな駐輪場の整備については、新たに駐輪場ができていないため、「未実施」と評価させていただきました。こちらについては、関東鉄道株式会社と調整させていただきながら、実施の可能性について検討していきたいと考えております。

**【板谷会長】**

これらについては、進行評価をどのように位置付けるかというところだと思います。

評価が、たとえばDだからダメということではなく、AであろうとDであろうと、今後、よりよくなっていくために、課題を見つけて、活用していくことが、評価の一番の目的なので、どちらかというところ、評価そのものよりも、今後の課題として、あるいは今後どんなことをやっていくことがあるのではないということをお記いただくと、次につながると思います。

色々動いていた方がよい面もあると思いますので、次回の計画の中に盛り込んでいけるといいと思いますので、引き続き検討をお願いしたいと思います。

**【事務局】**

6-2 バスロケーションシステムの課題として、利用促進があるのではということについては、その通りだと思います。バスロケーションシステムに限らず、コミュニティバスを利用されていない方と話をすると、コミュニティバスや乗合タクシーの乗り方がわからないという声をよく聞きます。

まだまだそういうことも含めて、利用促進策を考えていけば、バスや竜ヶ崎線の利用が促進されるのではと思いますので、現状の把握や、今事務局で考えていることも含めて、お記いただければと思います。

**【板谷会長】**

利用されている方や、これから利用したい人に、情報が伝わっているのかどうか確認しながら、進めていくことが大事だと思います。モビリティマネジメントの取組についても、大掛かりなものをやるだけでなく、バスの乗り方なども含めて一般の職員の方でも気軽に説明できることなど、いろいろなやり方を幅広く検討していく必要があると思います。

大きなところで問題がなければ、資料の通りとしたいと思いますが、一方で細かい所で何かあれば会議後事務局に連絡を頂くということで、いかがでしょうか。

～異議なしの声～

**【板谷会長】**

異議なしとのことですので、議事（4）につきまして、資料のと

おり承認といたします。

本日の協議事項は以上です。本日の意見を踏まえながら、事業を進めてまいりたいと思います。私含め、委員の方も引き続きご協力のほどよろしく申し上げます。

#### 5. その他

その他として、『A I オンデマンド交通について』とあります。事務局から説明をよろしく申し上げます。

#### 【事務局】

○資料に基づき説明

#### 【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。

#### 【事務局】

補足説明させていただきます。

今回、A I オンデマンド交通について説明を行うことになった経緯についてですが、先日開催しました研究会において、資料1の基本方針の中にある「新たな交通システム」「新たなモビリティサービス」について、市の方でどのようなものを考えているのか、というご質問がありました。その回答の中で、現在、市ではA I オンデマンド交通についての情報収集を行っていると話させていただきましたところ、A I オンデマンド交通はどのような交通システムなのか、というご質問をいただきました。そのため、今回、一度委員の皆様はどういったシステムか説明させていただきたいと考え、その他の事項として設定させていただきました。

#### 【板谷会長】

A I オンデマンドとなっていますが、タクシーに近いものをイメージしてもらえれば分かりやすいと思います。配車などいくつかのポイントについて説明を頂きました。人がここへ行けと指示をするわけではなく、A I が決めて運転手の方にその情報が伝えられ、お客を乗せることをやっていくシステムになります。

何がいいのかというと、今までバス停まで遠く公共交通が利用しづらかった所に、車両を小さくすることによって入っていけるようになります。これまで公共交通を利用してもらえなかった方々に利用してもらえる可能性が出てくると思っています。既に先進事例もありますので、いろいろご覧いただいて、龍ヶ崎市にとってふさわしい形態を考えていただければと思います。

1つ、気をつけなければいけないのは、既に龍ヶ崎市では複数の事業者が運行している中に、オンデマンド交通を導入することによって、これまでの需要がなくなるということにならないようにしないと



本末転倒になってしまいます。これまで、安心・安全な運行していただいた事業に影響が出ると困りますので、これまで公共交通を使えなかった方々が便利になるような形にするということを強く意識してほしいと思います。

また、運行事業者の問題もあり、車両の調達や運転手の手配など、地元事業者と調整しながら決めることとなります。それぞれが得をするような計画になっていくといいと思います。引き続き、どのような課題がありそうか、メンテナンスの面も含め、研究・検討を進めてほしいと思います。

特になければ、その他については終了とさせていただきます。

#### 【事務局】

市として、AIオンデマンド交通について勉強を始めたところですが、視察を含め、勉強させていただいておりますが、色々な運行形態がございます。大型バスを活用し定路線で運行をしている所や、市の一部で運行している所など、地域や市の特性を踏まえて、全体の公共交通ネットワークの中で考えていく必要があります。AIオンデマンド交通だけですべてを解決できるというものではありません。今後、慎重に検討を進めていきながら、本協議会や研究会の場を借りて、委員の皆様にご意見をうかがっていきたくと思います。よろしくお願ひします。

#### 【板谷会長】

特になければ、協議を閉会し、進行を事務局にお返ししたいと思います。

#### 6. 閉会

令和4年 月 日 議事録署名人

令和4年 月 日 議事録署名人